

訪問日:9月25日

訪問先:株式会社島精機製作所 大阪支店

面談者:大阪支店長兼泉州支店長 高橋恭二 様

大阪支店課長兼名古屋支店長 吉原正二 様

訪問者:寺井副理事長 鈴木洋行事務局次長

世界初の無縫製型横編機による無縫製ニットウェア「ホールガーメント」で、横編ニット製品に革命をもたらした株式会社島精機製作所様を訪問し、繊維業界の厳しい環境に於いても発展と進歩を続けていらっしゃる様子を伺いました。この世界的に有名な「ホールガーメント」を支える横編機とそのデザインを支援するコンピューターシステムとプリントシステムは一層進歩し、編機のスピードは1.2~1.5倍にアップしてサンプル制作のコストダウンに貢献できるようになっています。またデザインを支援する新システム「SDS-ONE APEX」はこれまでの機能に加え、3Dバーチャルシュミレーションに対応し、より簡単にモデリング表現を可能にし、驚くほどのリアリティを持っていました。All in Oneのコンセプトのもとに開発されたトータルファッションシステムには、無製版型プリントシステム「Sip-100F/160F」があり、デザイン表現の幅を大いに広げていますが、これにも前処理機、乾燥機、スチーマーの専用周辺機器が充実され究極の多品種・小ロット・クイックレスポンス生産を自社工場内で可能にしています。オーダーメイドのファクトリーショップも可能になっていると言えます。国際競争の激しいファッション分野での販売は、95%が輸出となっているそうで、その80%は中国向けとのことでした。またニット製品の国内需要は5.5億枚で、国内生産されているのは5%であるといひ、日本の置かれている現状を改めて知る思いがしました。

島精機では、今後はホールガーメントの特徴を生かしてファッション分野だけではなく、あらゆる産業分野で活用されることを目指して用途開発を進めていかれるとの事でした。

島精機の本社は和歌山で、全ての機器・サンプル、システムのデモを見学させていただくことが出来ますが、東京は日本橋2丁目に、大阪は梅田第4ビル15Fに支店があり、ここでも進化したシステムと様々な製品サンプルを見ることが出来ますので、訪問されることをお勧めします。

(文責:寺井)



大阪支店課長兼名古屋支店長 吉原正二様 大阪支店長兼泉州支店長 高橋恭二様

賛助会員訪問 立川ブラインド工業株式会社

場所 中央区銀座ショールーム

日時 2008年10月3日

いま東京で一番ホットな場所H&Mの斜め前、そして博品館の並びといえはすぐわかる好立地のタチカワ銀座ショールームに訪問しました。

お話を聞いたのは山田部長、橋口デザイナーで平日の3時でしたが、ショールームは人がたくさんいてにぎわいがある中で行われました。タチカワブラインドといえは知らない人はいないと思いますが、モノづくりの原点を大切に、人と環境に優しい上質な製品を創造し、今年で創業70周年を迎えるそうです。

設立当初は意外にも布製・木製ブラインドからスタートしていてファブリック製品に本格的に取り組んだのは、昭和60年頃からだそうです。ファブリックの特長はブラインドからスタートしていることもあり、光を通した生地の見え方に大変こだわり、光の加減で表情が異なるように織組織を駆使した生地で展開しています。銀座ショールームには各製品に光を通した時の透過性を確認できる「テストングウインドウ」がありますが、「光」と「製品」を考えているタチカワブラインドならではのものです。

窓周り製品の全てが揃っている好立地のショールームに最新のブラインドとファブリックを見に行かれてはいかがでしょう？ついでにM&Hに行こうと考えている方はまだまだ並ぶ覚悟が必要なようです。

記:豊方

